

## 仕 様 書

### I. 製造品名、数量及び規格等

下記のとおり

製 造 品 名	製 造 内 容
2026年度第2学期 面接授業開設科目一覧 (全国版)	部数 70,272部 ページ数 表紙・裏表紙:4ページ 本文:64ページ 色数 表紙・裏表紙:2色 本文:1色 用紙 表紙・裏表紙:上質紙(一般色) 本文:上質紙(菊判31kg) 製本 無線とじ
A4 判	

※部数は、直近過去3年の第1学期の最大値から算出。

ページ数は2026年度第1学期の実績を参照しているため、増減する可能性あり。

上記用紙について

- (1)環境保全に配慮したものであること
- (2)非塗工印刷用紙については白色度70%程度以下であること
- (3)塗工印刷用紙については塗工料が両面で30g/m<sup>2</sup>以下であること
- (4)再生利用しにくい加工が施されていないこと

※ただし、昨今の国内古紙需給環境の急激な変化に伴い、上記用紙の調達が 困難な場合には、別紙1-1「資材確認票(様式)」を提出することで代替品の提案(見積)を認める。

## Ⅱ. 編集・印刷・製本

- (1) 主要活字は8～10ポイント、校正は文字2回・色1回以上行うものとする。
- (2) 校正時には、指定の期日までに指定の原稿全てを提出し、期日の遅滞がないようにするものとする。
- (3) 校正提出の際は、毎回束見本を提出するものとする。
- (4) 組版オペレーター、内校者を各2名選任して、校正の際は必ず内校者にてチェック済の校正を提出するものとする。
- (5) (4)については求めに応じて担当者と直接打ち合わせ等をする場合がある。

## Ⅲ. 納品・その他

1. 成果物として、完成した印刷物と同内容の下記に沿った電子データを納品すること。
  - (1) インデザイン日本語版(又は同等以上のソフトウェア)で作成された組版データ。
  - (2) 上記組版データをAdobe PDF形式に変換したデータ。
    - ・印刷物1冊につき1ファイルとし、印刷物と本データの各ページが対応していること。
    - ・目次に沿ってしおりを設定すること。また、授業概要については、各学習センターの最初のページを参照できるしおりを設定すること。
  - (3) 納品の際に使用するメディアは、フラッシュメモリ(USB対応)又はCD-R(ISO9660)のいずれかを使用すること。
  - (4) 作成に当たっては、インデザイン日本語版(又は同等以上のソフトウェア)で作成された組版データを学習センター支援室より貸し出すことがある。
  - (5) 上記(2)に関し必要に応じWordファイル等の編集可能なデータを求めることがある。

### 2. 梱包方法

大学本部・発送業者納品分について25部を1梱包として、それぞれ側面に作成物の名をラベル等で表示して納品すること。

### 3. 納品場所

- (1) 冊 子：別紙2のとおり指定された数量を納品すること。  
電子データ：組版データ及びPDFデータ、必要に応じその他データを格納したメディア1部を学園本部学習センター支援室へ納品すること。
- (2) 事前連絡：納入に当たっては、事前に学園本部学習センター支援室と調整すること。

### 4. 納品期限

- (1) 冊 子：発送業者宛には、2026年6月18日(木)に納品すること。本部及び各

学習センター宛には、2026年6月24日(水)迄に納品すること。  
電子データ:放送大学学園本部学習センター支援室面接授業係へ、2026年6月18日(木)迄に納品すること。  
ただし、校了後のPDFデータのみ、6月3日(水)迄に提供すること。  
(提供方法は、ファイルストレージ等を使用しても構わない)

## 5.その他

- (1)①業務を請け負った者は、業務の全部について、一括して第三者に請け負わせ、或いは一括して第三者に再委託してはならない。  
②業務の一部を第三者に対して請け負わせ、或いは再委託する場合、業務を請け負った者は、あらかじめ所定の事項について、本学園に申請した上で、承諾を得なければならない。
- (2)上記以外の詳細については担当者と十分打合せを行い、その指示に従うものとする。
- (3)印刷製本の内容が本仕様書等又は発注者の指示若しくは発注者と受注者との協議の内容に適合しない場合において、発注者がその修補等を請求したときは、当該請求に従わねばならない。

作成年月日： 年 月 日

御中

件名：

## 資 材 確 認 票

印刷資材		使用 有無	リサイクル 適性ランク	資材の種類	製造元・銘柄名	備考
用紙	本文					
	表紙					
	見返し					
	カバー					
インキ類						
加工	製本加工					
	表面加工					
	その他加工					
その他						

↓

使用資材	リサイクル適性	判別
A ランクの資材のみ使用	印刷用の紙にリサイクルできます	
A または B ランクの資材のみ使用	板紙にリサイクルできます	
C または D ランクの資材を使用	リサイクルに適さない資材を使用しています	

- 備考） 1 資材確認票に記入する印刷資材は、最新の「リサイクル対応型印刷物製作ガイドライン」に掲載された古紙リサイクル適性ランクリストを参照すること。
- 2 古紙リサイクル適性ランクが定められていない用紙、インキ類等の資材を使用する場合は、「リサイクル適性ランク」の欄に「ランク外」と記載すること。
- 3 内容に関する問合せに当たって必要となる項目や押印等の要否については、様式の変更等を行うことができる。

作成年月日： 年 月 日

御中

件名：

## 資 材 確 認 票

〇〇印刷株式会社

印刷資材		使用 有無	リサイクル 適性ランク	資材の種類	製造元・銘柄名	備考
用紙	本文	○	A	上質紙	〇〇製紙／〇〇	
	表紙	○	A	コート紙	〇〇製紙／〇〇	
	見返し	○	A	上質紙	〇〇製紙／〇〇	
	カバー	—	—			
インキ類		○	A	平版インキ	〇〇インキ／〇〇	
加工	製本加工	○	A	PUR 系ホットメルト	〇〇化学／〇〇	
	表面加工	○	A	OP ニス	〇〇化学／〇〇	
	その他加工	—	—			
その他						

↓

使用資材	リサイクル適性	判別
A ランクの資材のみ使用	印刷用の紙にリサイクルできます	○
A または B ランクの資材のみ使用	板紙にリサイクルできます	
C または D ランクの資材を使用	リサイクルに適さない資材を使用しています	

- 備考） 1 資材確認票に記入する印刷資材は、最新の「リサイクル対応型印刷物製作ガイドライン」に掲載された古紙リサイクル適性ランクリストを参照すること。
- 2 古紙リサイクル適性ランクが定められていない用紙、インキ類等の資材を使用する場合は、「リサイクル適性ランク」の欄に「ランク外」と記載すること。
- 3 内容に関する問合せに当たって必要となる項目や押印等の可否については、様式の変更等を行うことができる。

## 面接授業開設科目一覧(全国版)・納品部数一覧

	開設科目一覧
大学本部	250
発送業者(※)	68,512
各学習センター	1,510
	70,272

(※)発送業者

郵便番号 331-0057

埼玉県さいたま市西区中野林150

ヤマト運輸株式会社 大宮ロジセンター

電話番号 048-622-6672

学習センター /サテライト ペース	開設科目一覧 (全国版)
北海道	25
旭川	5
青森	25
八戸	5
岩手	25
宮城	25
秋田	25
山形	25
福島	25
いわき	5
茨城	25
栃木	25
群馬	25
埼玉	50
千葉	50
東京渋谷	50
東京文京	100
東京足立	50
東京多摩	50
神奈川	50
新潟	25
富山	25
石川	25
福井	25
山梨	25
長野	25
岐阜	25
静岡	25
浜松	5
愛知	25
三重	25
滋賀	25
京都	25
大阪	25
兵庫	25
姫路	5
奈良	25
和歌山	25
鳥取	25
島根	25
岡山	25
広島	25
福山	5
山口	25
徳島	25
香川	25
愛媛	25
高知	25
福岡	25
北九州	5
佐賀	25
長崎	25
熊本	25
大分	25
宮崎	25
鹿児島	25
沖縄	25

1,510